

事務事業名		大船渡市産業まつり開催運営支援事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業			
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興								
	基本事業名	03 特産品の開発と販売促進								
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和53 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 07 01 03 02			
所属	部課名	商工観光部商工観光物産課								
	係名	物産係	電話 内線	27-3111 114						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・大船渡市内で生産された特産品を市内外に広くPRし、地場産業の発展を期すため毎年10月下旬に市民体育館を会場に開催する「大船渡市産業まつり」について、開催運営を支援する立場として大船渡市産業まつり実行委員会(委員長:大船渡市長 構成10団体)に対し1,800千円の負担金を支出する。その負担金のうち500千円は11月上旬に三陸町で開催される「三陸地区産業まつり」の開催運営を支援するため、大船渡市産業まつり実行委員会から三陸地区産業まつり実行委員会に助成金として支出している。大船渡市産業まつり実行委員会の事務局は商工観光物産課が受け持っており、会議の開催、出展勧誘・報告書の取りまとめ、各種申請事務、会場設営・撤収、まつり運営、会計等の事務を担当している。 ・大船渡市産業まつり実行委員会事務局用務(商工観光物産課物産係) ・三陸地区産業まつり実行委員会事務局用務(商工会議所三陸支所)								全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 事前に出演者を拡大するため勧誘(企業訪問・案内通知等)や様々な広告媒体を活用しまつりの宣伝を行った。内容について業者及び関係者との連絡調整を行い、地場産品の普及につながる体験型コーナーを新設し、2日間イベントを開催した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度同様		名称 単位 ア 産業まつり出展勧誘件数 件 イ 会場内コーナー設置件数 件 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 直接対象 ・大船渡市産業まつり実行委員会 間接対象 ・産業まつり来場者 ・市内特産品製造販売業者		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 産業まつり来場者数 人 キ 産業まつり出展業者数 業者 ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・(産業まつり来場者に)地場産品愛用に対する理解を深め、需要を促してもらう。 ・(市内特産品製造販売業者に)地場産品の普及に対する意識を高めてもらう。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 産業まつり総売上金額 千円 シ 産業まつり来場者数増減率 % ス 産業まつり出展業者数増減率 %	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・地場産品の需要を促進させる。 ・地場産品の商品価値を高め、各産業分野における経済効果を向上させる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業内訳	単位						
			千円	千円	千円	千円	千円	千円
投入量	財源内訳	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源						
		事業費計(A)	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	人件費	正規職員従事人数	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	300	300	350	300	300	300
		人件費計(B)	1,200	1,200	1,400	1,200	1,200	1,200
		トータルコスト(A)+(B)	3,000	3,000	3,200	3,000	3,000	3,000
活動指標	ア	件	155	175	180	180	180	185
	イ	件	19	21	22	21	20	23
	ウ							
対象指標	カ	人	23,000	29,000	28,000	28,000	26,000	37,000
	キ	業者	78	75	87	81	85	82
	ク							
成果指標	サ	千円	8,513	8,720	8,714	8,968	8,935	11,484
	シ	%	82.1	126.1	96.6	100.0	92.9	142.3
	ス	%	109.9	96.2	116.0	93.1	104.9	96.5

事務事業ID	0436	事務事業名	大船渡市産業まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
地場産品に対する市民の理解と需要拡大に努め、生産者間で相互に意識の高揚を促すための機会がなかったため、関係機関、昭和53年度から商工団体及び各種団体が構成する実行委員会を組織し、多種多様な地場産品を一堂に集めてPRする場として「産業まつり」を実施することとした。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
食料品事情においては、各地で地産地消運動が活発化しており、地域の安心、安全な食材を地元で消費する様々な取り組み(総合スーパー等と提携し地元食材を販売、公的施設等への食材供給、産直施設・産直レストラン等を活用した販売営業)が進められており、消費者側においても食生活に安全な地元食材を用いるといった意識が以前に比べ強まってきている。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・まつり全体がマンネリ化してきており、来場者と出展業者が年々減ってきているといった業者からの意見がある。			
・市町合併後も大船渡と三陸地区の2会場であつりを実施しているが、時期をみて一本化した方が良いとの意見がある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 特産品を宣伝することは、市の物産の販売促進に結びつく。	
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地場産品のPR及び販路拡大については、消費者ニーズに合った競争力のある特産品の需要拡大を推進するため、関係機関・団体と連携し、物産展の開催等様々な手法を活用し取り組む必要がある。	
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 産業まつりは、来場者・販売業者に地場産品の普及に対する意識を高めることになり、まつりを開催する実行委員会への支援であり、対象・意図は妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 定期的に近隣市町で同様のまつりが実施されるほか、市内においてもまつりが重複しているため、来場者が伸び悩んでいたが、22年度において農業まつりと同時開催することにより来場者の増加につながった。今後更なる集客を図るため、イベント内容の趣向を凝らしていく必要がある。	
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事業を廃止した場合、商工業・水産業・農林業等様々な分野の地場産品を一堂に宣伝する機会がなくなるため、地場産品に対する普及意識が低下し、物産の販売促進に支障をきたすことになる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 三陸地区産業まつり開催事業 ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 上記まつりは旬の味覚や農産物のPRを目的とした事業であり、開催趣旨に共通する部分があるが、個々に組織運営しており、統合の必要性や利点を含めて年月をかけて課題を解決しなければならない。 ☐ 他に手段がない [理由]	
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費を削減した場合、イベントの事業規模を縮小することになり、人員削減や広告宣伝の削減等を含め、まつりの運営全般について簡素化する必要がある。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 実行委員会事務局を商工団体に移管する方法があるが、互いに環境や条件が整わなければ移管することはできないため長期にわたって検討を要する。現在は事務事業に関する通常業務は主任クラスが1名で担当しており、人件費の大幅な削減はほぼ見込めない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 実行委員会ではまつり開催運営にあたり、市以外に構成団体である商工団体や農林漁業団体等から負担金を徴し、また出展業者からは出展料を徴して運営経費に充てており、事業に関しては公平性を持っている。	

事務事業ID	0436	事務事業名	大船渡市産業まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 産業まつりは地場産業の発展を目的として開催当時から市が主導となって運営しているが、時勢の流れから参加業者が徐々に減少し、現在では出展業者がほぼ固定している。また景気の低迷により消費者の購買意識に変化が生じ、1人当りの購入単価が減少し、まつり全体の売上金額も減少し続けている。そのような中、まつりを盛り上げるためにも、関係者の意見も積極的に取り入れ、魅力あるまつりとして今後も継続しなければならない。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・まつりの出展企業を増加させるため、出展勧誘方法や出店要領(出店手数料等)の見直しについて協議を進める。 ・まつりの周知方法や宣伝する地域を拡大する等効果的な宣伝を行う。 ・市民が参加でき楽しめるメニューを取り入れ、まつりの内容充実努める。 ・三陸地区産業まつりとの統合に向けて、地域住民の意向を踏まえながら関係者と協議を進める。 ・実行委員会事務局の民間組織への移管について、課題を整理し各団体と協議を進める。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 三陸地区産業まつりとの統合については、地元商店街や地域住民の合意を得ることが最大の課題である。実行委員会事務局の移管については、移管の対象となる団体の体制づくりが必要である。それぞれ早急に解決できる課題ではないが、可能性について調査を進め、住民や利害者が納得できる効果的な解決策を見出し、双方の機運が醸成した時期に取り組むべきである。																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。																						
		<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 産業まつり開催時期には他会場でのイベントもあり、客の争奪戦の様相となっている。まずは農業まつりとの同一会場開催について検討を進める。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																								
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																								
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
